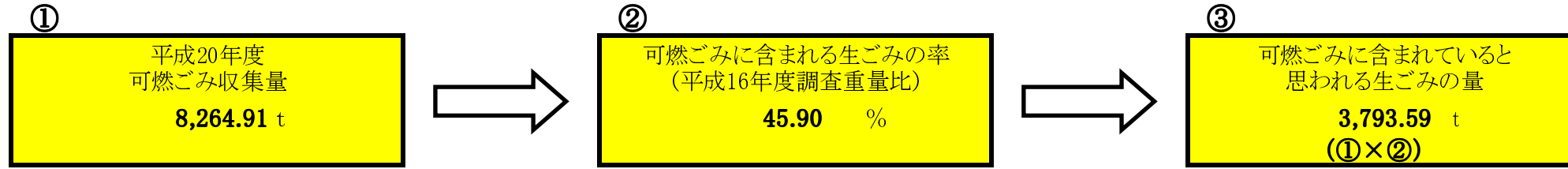


# 重点対象の項目別試算表

## 1 生ごみ関係

### (1) 可燃ごみに含まれる生ごみ量(試算)



### ア 生ごみを減量した場合の減少量(試算)

単位:t

	10% 減量	20% 減量	30% 減量	40% 減量	50% 減量	60% 減量	70% 減量	80% 減量	90% 減量	100% 減量	備考
減少量	379.36	758.72	1,138.08	1,517.44	1,896.80	2,276.16	2,655.52	3,034.87	3,414.23	3,793.59	

### (2) 1世帯当たりの生ごみ排出量(試算)

項目		備考
④ 人口	73,171 人	平成21年6月1日現在
⑤ 世帯数	27,038 世帯	平成21年6月1日現在
⑥ 1世帯当たり世帯人員	2.71 人	(人口÷世帯数)
⑦ 1人1日生ごみ排出量	142.04 g/人・日	③÷人口÷365
⑧ 1世帯当たり生ごみ排出量	384.40 g/世帯・日	⑥×⑦
⑨ 1世帯当たり年間生ごみ排出量	0.14 t/世帯・年	⑧×365÷1,000,000

生ごみ処理機の普及台数	3,667 台	
生ごみ処理機の普及率	13.56%	台数÷世帯数

(参考)
平成20年度生ごみ処理機に対する補助件数
188 件

### (3) 生ごみ処理機の普及による減量効果(試算) ※実質処理量とは、生ごみを処理機に投入しても100%消滅するのではなく、残渣が発生するため、その発生量を考慮したもの。(減容率は1/10で設定・処理機メーカーカタログより)

補助件数	100 件	200 件	300 件	備考
処理量	14.03	28.06	42.09	⑨×件数で試算
実質処理量	12.63	25.26	37.88	処理量×0.9

単位:t/年

⑩ 生ごみ処理機を年間200件普及した場合の実質処理量
25.26 t/年減量

単位:t

### (4) 生ごみ処理機の普及を複数年実施した場合の減量効果(年200件の場合)

年数	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年	8 年	9 年	10 年	備考
処理量	56.12	84.18	112.24	140.31	168.37	196.43	224.49	252.55	280.61	⑩×年数で試算
実質処理量	50.51	75.77	101.02	126.28	151.53	176.79	202.04	227.30	252.55	処理量×0.9

(A) 生ごみ処理機を年間200件、10年間普及した場合の実質処理量
252.55 t

### (5) 生ごみ減量化等モデル地区事業による減量効果(試算)(1地区50世帯の場合)

地区数	1 地区	2 地区	t/年
処理量	7.02	14.03	
実質処理量	6.31	12.63	

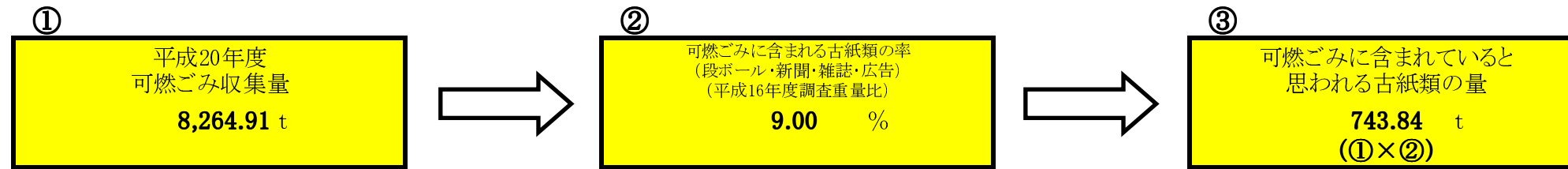
(B) 生ごみ減量化等モデル地区事業を1地区実施した場合の実質処理量
6.31 t

### (6) 年間200件の生ごみ処理機の普及による効果とモデル地区事業を1地区実施した場合の減量合計量

生ごみ処理機	生ごみ減量化等モデル地区事業	合計	対平成20年度収集量 t/年
25.26	6.31	31.57	0.38%

## 2 古紙類関係

### (1) 可燃ごみに含まれる古紙類の量(試算)



### (2) 古紙類を資源化誘導した場合の資源化量(試算)

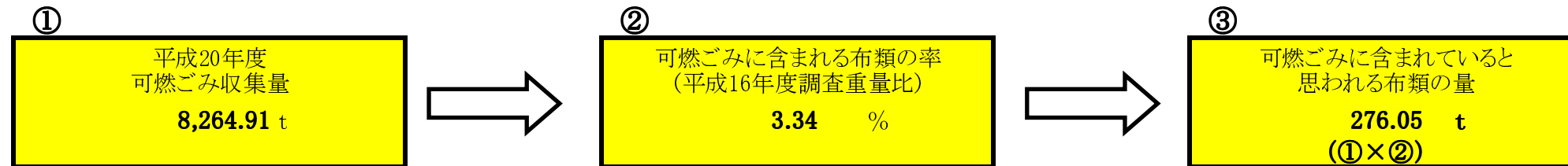
単位:t

	10% 資源化	20% 資源化	30% 資源化	40% 資源化	50% 資源化
資源化量	74.38	148.77	223.15	297.54	371.92

(C)  
啓発活動等により  
10%資源化した場合  
74.38 t減量

## 3 布類関係

### (1) 可燃ごみに含まれる布類の量(試算)



### (2) 布類を減量した場合の減少量(試算)

単位:t

	10% 資源化	20% 資源化	30% 資源化	40% 資源化	50% 資源化
資源化量	27.60	55.21	82.81	110.42	138.02

(D)  
新たに収集を開始し  
50%資源化した場合  
138.02 t減量

(参考) 布類回収の上伊那の他市町村の状況

市町村名	出し方等	用途及び現状
駒ヶ根市	透明なビニール袋へ入れる綿(わた)の入ったもの、靴下、ストッキングや汚れたものは不可	古着(薄手できれいな着れるもの)一部ウエス・繊維等
辰野町	夏物、綿製品のみ(洗濯済みで着れるもの)ビニール袋へ入れる	古着(夏物)・ウエス(綿のみ)等
箕輪町	衣類として再利用できるもの洗濯後ビニール袋へ入れる	古着等
飯島町	洗濯後ビニール袋へ入れる綿(わた)の入ったもの、靴下、ストッキングや汚れたものは不可	古着・ウエス・自動車のシート等
南箕輪村	汚れているもの、濡れているもの、防寒用のものは不可	古着・ウエス等
中川村	ビニール袋へ入れる汚れているもの、濡れているもの、防寒用、制服等は不可	古着(薄手できれいな着れるもの)一部ウエス・繊維等
宮田村	ビニール袋へ入れる汚れているもの、濡れているもの、化学繊維は不可	古着(薄手できれいな着れるもの)一部ウエス・繊維等
伊那市	工業用の用途がなくなり、業者からの申し入れにより中止。(平成13年)	

(合計)  
(A) + (B) + (C) + (D)  
471.27 t減量

ごみの  
減少率 5.70% 対平成20年  
度収集量

#### 4 レジ袋関係(参考)

(1)伊那市の年間レジ袋使用枚数「日本全体でのレジ袋使用枚数、年間305億枚( 260 枚/人・年) レジ袋の重さを 8 gと仮定した場合」

